



仕入先様との関わり

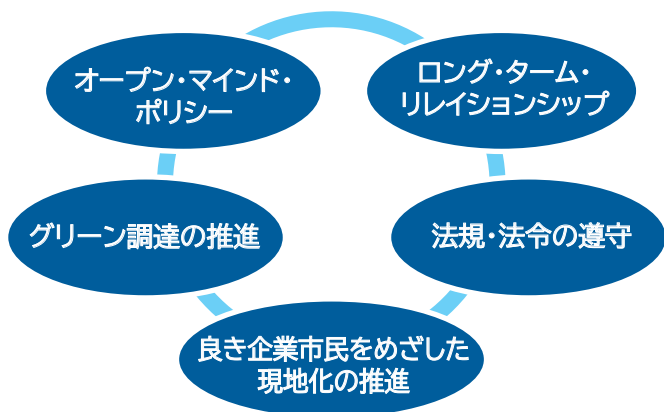
当社では、企業活動の場を世界に求め、質・量・コストで最も優れた部品、資材、設備などを世界各地から調達しております。また、良き企業市民として公正・公平な取引を基本に、サプライヤーとの協力により環境保全などの社会要請にも対応し、「最適グローバル調達」をめざします。

調達基本方針

調達の基本方針として5つの基本的な考え方に基づき、世界各地域で品質・コスト・納期・環境に優れた部品・資材・設備の調達活動を展開しています。

国籍・企業規模に制約を設けず公平・公正な取引の機会を提供し、仕入先様との長期に渡る良い取引関係を築くことを明文化し活動しています。

■調達の基本的な考え方



仕入先様との連携強化

当社を取巻く環境とめざすべき方向を提示し、その上で年度の調達基本方針をしっかりと理解していただくために、調達方針説明会を毎年4月に行っています。

調達方針説明会には、製品・加工・資材・設備・金型のサプライヤー約130社にご参加いただき、今年度の「東海理化グループ方針」「調達機能方針」として、安全・品質・コスト・技術・グローバル展開、各種活動への協力を説明を通じて、仕入先様との連携をさせていただきます。



▲調達方針説明会

仕入先様と連携した災害未然防止活動

調達部では、塗装、鋳造工程と受変電設備を防災重点分野とし、仕入先様と中期計画に基づき、社内専門委員会と連携しながら事業所ごとの設備の自主点検に協力いただいています。また、社内専門委員会と連携した現地相互監査を実施し、災害の未然防止に努めています。



▲受変電設備点検

紛争鉱物への対応

当社では、主にスイッチやエレクトロニクス製品製造においてスズ、タンタル、タングステン、金などを使用しており、モノづくり企業として責任ある鉱物調達をめざし活動を強化しています。

2013年度は顧客要請により紛争鉱物の使用状況について仕入先様の協力を得ながら調査を実施・報告致しました。今後も、仕入先様をはじめとするさまざまなステークホルダーの皆さまと連携し、紛争鉱物不使用に向けた取組みを実践しながら、人権侵害や暴力行為への加担を回避するなど、より責任ある鉱物調達に向けた取組みを推進いたします。

TOPICS

紛争鉱物とは

コンゴ民主共和国およびその周辺国など、紛争が絶えない地域原産の鉱物が、人権侵害や暴力行為を行う反政府軍等の武装勢力の資金源と化していることが大きな国際問題となっています。

OECD(経済協力開発機構)では、紛争地域などからの鉱物のサプライチェーンにおいて人権を尊重するとともに、紛争への関与を回避するためのリスク管理を行うよう企業に求めています。

これらを背景として、2010年7月米国「金融規制改革法」(ドット=フランク法)が成立し、米国証券取引委員会は、同国で上場する企業に対し、コンゴ民主共和国およびその隣接国で産出される4鉱物(スズ、タンタル、タングステン、金)について、その使用実績の有無や原産国の開示義務を課す規制を制定しました。